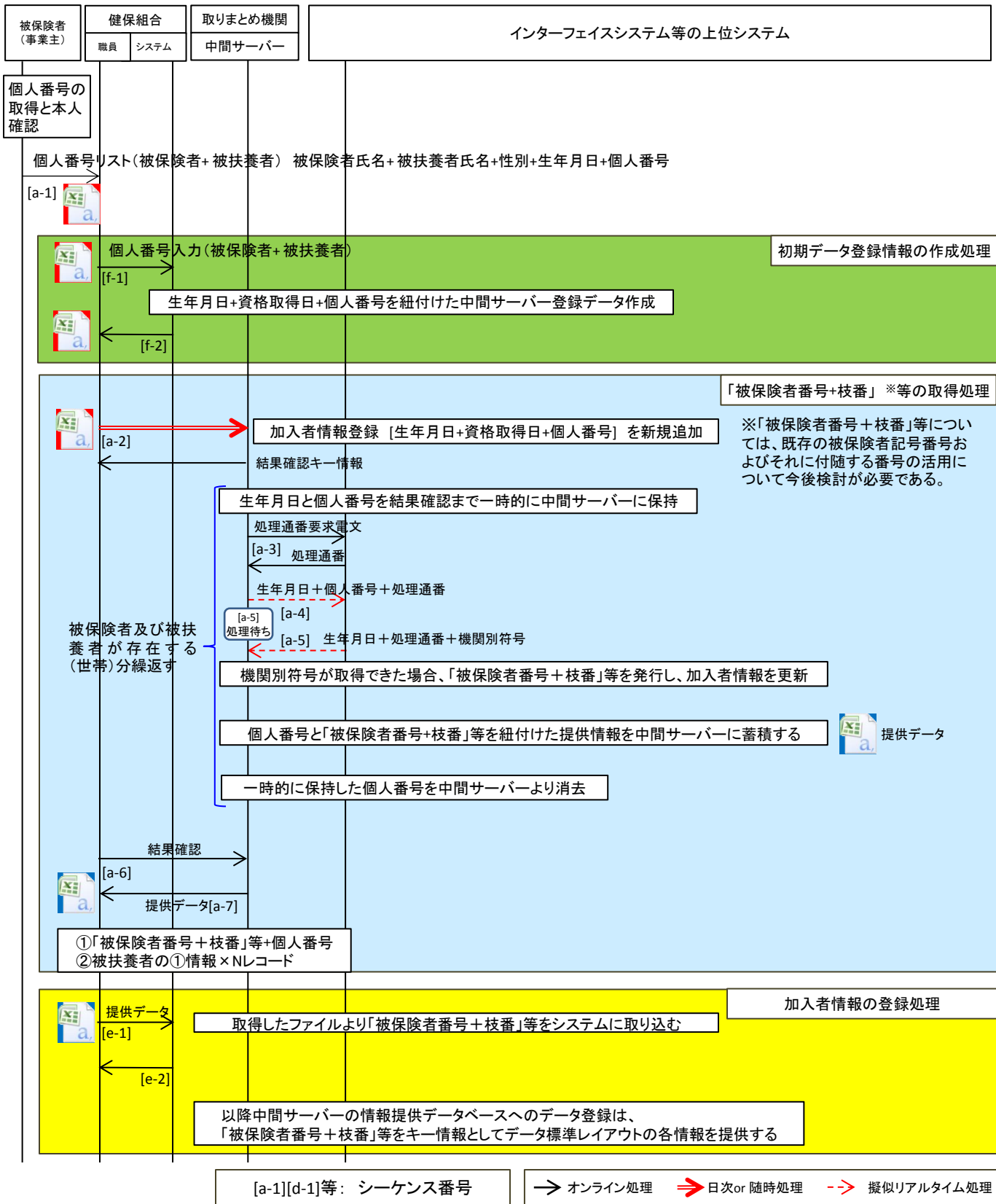


中間サーバーの通信シーケンス概要

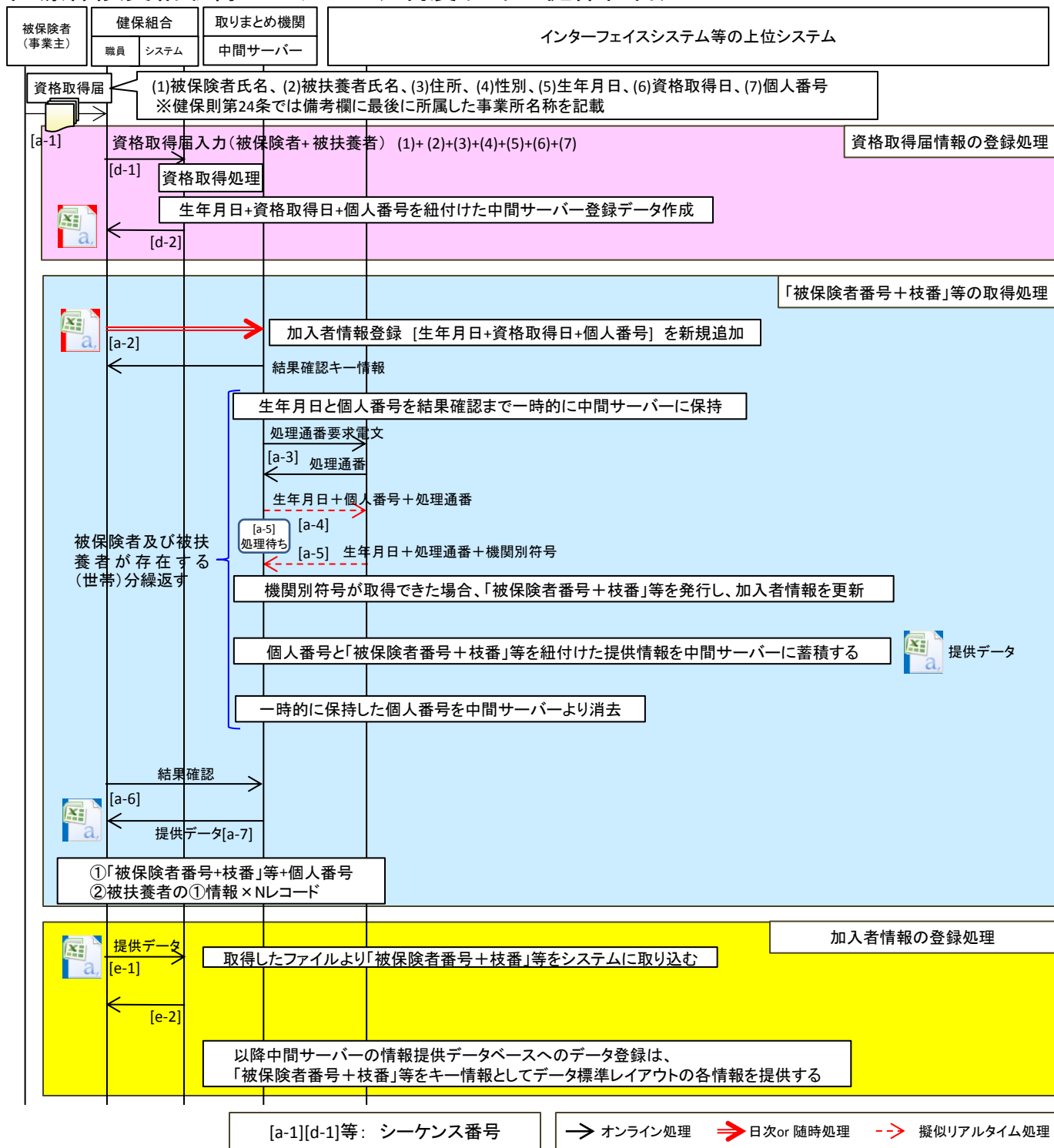
<健康保険組合>

調整中

初期データ登録シーケンス(健保組合)



医療保険資格取得シーケンス(4制度以外⇒健保組合)



【擬似リアルタイム処理】

処理要求の受付応答受信後、待受け状態に入り、処理要求の結果通知を受信した時点で後処理を継続して処理する方式。ネットワークに接続された中間サーバー等のシステムはセキュリティ対策で、直接変更することは許可されていない。あくまで原本のデータベースの変更に、バッチ処理等の方法で副本として複製されてアクセスが可能になる。したがって、中間サーバー等へのアクセスは、バッチ処理等のタイミングに応じて応答を長時間待つ疑似リアルタイム処理となる。

被保険者 (事業主)	健保組合 職員 システム	取りまとめ機関 中間サーバー	インターフェイスシステム等の上位システム
資格取得届	(1)被保険者氏名、(2)被扶養者氏名、(3)住所、(4)性別、(5)生年月日、(6)資格取得日、(7)個人番号 ※健保則第24条では備考欄に最後に所属した事業所名称を記載		
[a-1]	資格取得届入力(被保険者+被扶養者) (1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)+(7)	資格取得届情報の登録処理	
[d-1]	資格取得処理		
[d-2]	生年月日+資格取得日+個人番号を紐付けた中間サーバー登録データ作成		
[a-2]	加入者情報登録 [生年月日+資格取得日+個人番号] を新規追加 機関別符号を取得済みであることを確認 「被保険者番号+枝番」等を発行し、加入者情報を更新	「被保険者番号+枝番」等の取得処理	
[a-3]	提供データ[a-3]		
①「被保険者番号+枝番」等+個人番号 ②被扶養者の①情報×Nレコード			
[e-1]	提供データ[e-1]	取得したファイルより「被保険者番号+枝番」等をシステムに取り込む	加入者情報の登録処理
[e-2]		以降中間サーバーの情報提供データベースへのデータ登録は、 「被保険者番号+枝番」等をキー情報としてデータ標準レイアウトの各情報を提供する	

-> 擬似リアルタイム処理